

# 教員紹介

経営	
岩崎 邦彦 教授	マーケティング（地域マーケティング、農産物マーケティング）
上野 雄史 教授	会計・ファイナンス、サステナビリティ開示、AIの影響分析
落合 康裕 教授	経営戦略、経営組織、企業統治（事業継承、ファミリービジネス、企業家活動、ビジネスシステム）
竹下 誠二郎 教授	経営学（比較ガバナンス論、経営戦略、国際経営、多国籍企業）
上原 克仁 准教授	人的資源管理論、労働経済学、人事経済学
玉利 祐樹 准教授	行動意思決定論、行動計量学、計量心理学、社会心理学、感性工学
趙 彤基 講師	コーポレートファイナンス、イノベーション戦略（企業のイノベーション活動や国際的企業行動が財務に与える影響）
後藤 耀 助教	管理会計、公会計
公共政策	
金目 哲郎 教授	財政学、地方財政論、財政調整制度、自治体の財政運営
岸 昭雄 教授	土木計画学、都市経済学（公共投資の評価、都市集積の分析、交通政策、都市政策）
東野 定律 教授	社会福祉学、公衆衛生学、医療介護政策（介護保険制度、地域包括ケアシステム）
藤本 健太郎 教授	社会保障政策論、公共政策論（人口減少対策、社会的孤立、日独の社会保障政策の比較研究）
天野 ゆかり 准教授	介護福祉論、医療介護人材、臨床倫理
木村 綾 准教授	保健福祉学、地域福祉論、コミュニティワーク
松岡 清志 准教授	行政学、政策学、地方自治（行政のDX、公共交通政策）
沖本 まどか 講師	国際貿易論（理論研究）、ミクロ経済学、戦略的貿易政策の理論
野口 理子 助教	行動経済学、健康行動
情報	
武藤 伸明 教授	数学、情報学（数学一般、知能情報学）
湯瀬 裕昭 教授	情報学（情報教育、応用情報システム）
六井 淳 教授	情報学（人工知能、機械学習、時系列予測、音楽情報処理）
渡邊 貴之 教授	情報学（経営情報学、観光情報学、電子情報学、シミュレーション）
井本 智明 准教授	確率・統計に関する数学
大久保 誠也 准教授	暗号理論、量子計算の理論
天野 政紀 講師	関数論、複素解析学、タイヒミュラー空間論
小田 紘久 講師	情報学（画像処理、医用システム、教育システム）
相良 陸成 助教	人工知能、ヒューマンロボットインタラクション
観光	
内海 佐和子 教授	建築計画、都市計画、住居学
大久保 あかね 教授	観光学（宿泊事業論、観光情報論、観光による地域振興）
カウカムアン・アムナー 准教授	観光学（農村観光、国際観光、観光経営、観光戦略、観光計画）
寺崎 竜雄 講師	観光政策論、観光市場論、持続可能な観光（エコツーリズム）
楊 婕 助教	観光におけるキャッシュレス決済利用行動の実証研究、観光消費行動に関する定量的研究

## 経営情報 イノベーション研究科

研究科案内

静岡県公立大学法人  
 **静岡県立大学**  
 UNIVERSITY OF SHIZUOKA  
 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1  
 TEL 054-264-5102(代表)  
 054-264-5007(入試室)  
<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp> (全学)  
<https://mi.u-shizuoka-ken.ac.jp> (学部・研究科)



CAMPUS GUIDE BOOK 2027

静岡県立大学

# 大学院経営情報 イノベーション研究科

研究科案内





## イノベーションを喚起する新たな プロフェSSIONALの育成 (博士前期課程)

あらゆる領域において一人ひとりがプロフェSSIONALとしての知識とスキルを求められる昨今、組織や地域社会の中でイノベーションを具体的かつ実践的に担う第一線で活躍する専門的職業人の育成を目指します。



## あらゆる領域においてイノベーションの実現と その基盤を担う人材の養成 (博士後期課程)

急速な少子高齢化の進行、経済のグローバル化に伴う競争の激化などにより、ローカル/グローバルなレベルにおいてこれまでとは異なる新たな発想で道を切り開く方策への期待が高まっています。そこで本研究科は、経営、公共政策、情報、観光の研究教育の支柱をより強固に取りまとめ、社会における様々な課題解決につながるイノベーションを推し進めることのできる人材を、高度かつ実践的な研究教育を通して養成します。



## 博士前期課程、博士後期課程ともに イノベーションを軸にしたカリキュラム体系

博士前期課程、博士後期課程ともにそのコアに「イノベーション」関連科目を配置し、イノベーションに関する知識とスキルの獲得を目指します。

【博士前期課程】「イノベーション原理特論」「知的情報イノベーション特論」  
「経営情報イノベーション特論」「観光マネジメント特論」

【博士後期課程】「イノベーション論特殊講義」「経営事業創造特殊講義」「ソーシャル・イノベーション特殊講義」  
「地域マネジメント特殊講義」  
「知的情報システム特殊講義」「知的情報基盤特殊講義」



## 遠隔地(オンラインでも開講)でも、 働きながら(夜間・土曜日も開講)でも学べる大学院、長期履修制度あり

本研究科のすべての講義は午後2時40分以降に始まり、半数以上の講義は夜間(午後6時30分以降)に開講されます。また、土曜日の午前・午後に関講される授業、オンラインで開講される授業、長期履修制度もあります。これにより、社会人が勤務を続けながら学位を取得することができます。この制度を利用して、現在では多数の社会人大学院生が在学しています。

### 教育、研究、地域貢献を行うための「知の創造を担う拠点」の確立

現在、新たに台頭しつつある社会変革へのニーズに応えるべく、静岡という地域の状況を熟知した地域の総合的な戦略を構築し、イノベーションを現実化する人材を養成する拠点が求められています。本研究科はそうした拠点として、静岡県の地域特性およびその立地の状況を活かして、地域の皆さんとともに地域に立脚し、知の創造とその活用により地域社会に貢献できる人材を育成します。

## Message

### 高い専門性を有し、 「思考のダイバーシティ」を実践できる人材を育みます

イノベーションが経済の発展はもちろんのこと、人類の進展において最も貢献している要因だと言っても過言ではありません。しかし85%の新しいアイデアは開花せず、研究開発を行っても、その60%は市場に出たあとに失敗してしまいます。これはイノベーションにおける経営力が足りないからなのです。テクノロジーの知識不足がイノベーションの失敗につながることはまれなことです。

これからの日本は、過度な内部成長重視型の殻を打ち破り、革新的で新しい価値を創出するオープン・イノベーションが欠かせません。海外に目を向けると、米中によるヘゲモニー争いによって地政学的リスクが一気に高まり、欧州では民族と宗教と文化が複雑に絡み合った「文明の衝突」が現実のものとなりつつあります。このように不確定要素が増大している環境下におい

て、多様性を容認し、許容度を高め、「思考のダイバーシティ」を実践する必要性が高まってきているのではないのでしょうか？ また、AIなど、技術の進歩により、さらなる専門性が個人に求められる時代が到来しています。

本研究科の博士前期課程においては、各人が専門性に長けた人材となるよう、イノベーションを喚起するプロフェSSIONALの育成に力を入れています。博士後期課程においてはあらゆる領域においてイノベーションの実現とその基盤を担う人材の育成を目指しています。成熟した概念から脱却し、イノベーションに必要な不可欠なダイナミックな概念を備えていただくため、多様なカリキュラムを提供しています。遠隔地にはオンラインで対応し、社会人による積極的な参加を促すために講義の半数以上は夜間にて行われ、土曜日も開講しています。

経営情報  
イノベーション研究科長  
竹下 誠二郎



プロフィール  
獨協大学外国語学部卒(1985)。岡三経済研究所入所後、米国留学を経て、ドイツ銀行、オランダ銀行、みずほインターナショナルなど、ロンドンの金融街にて24年間勤務。2015年より静岡県立大学経営情報学部教授(2017~21学部長)。経営情報イノベーション研究科教授(2023~研究科長)。比較ガバナンスを中心とした国際比較・経営を主に研究している。BBCやCNNなどをはじめとした海外メディア出演回数は2,500回超。ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院MBA(1989)、ロンドン大学PhD。(経営学、2007)。

# 博士前期課程

入学から修士号取得まで 標準修業年限2年(最長4年) / 長期履修制度あり



### CHECK A 高等学校教諭専修免許の取得

本研究科では、高等学校教諭専修免許「商業」及び「情報」の取得が可能です。高等学校教諭一種免許をすでに持っている方なら、本研究科開講科目の内、教職指定科目をそれぞれ24単位以上修得することにより専修免許が取得できます。

### CHECK B 修了要件

- ①必修科目12単位、選択科目から18単位の併せて計30単位以上を修得すること。
- ②必要な研究指導を受けた上で、副論文審査の合格を経て、修士論文の審査および口頭試問に合格すること。

### CHECK C 単位互換

#### (単位互換科目1)

静岡大学大学院人文社会科学部研究科が単位互換により提供する科目を、8単位を上限として修了単位に参入できます。ただし、下記の「他研究科科目」とあわせて10単位を上限とします。

#### (単位互換科目2)

指導教員及び科目担当教員の許可により、本学の他研究科の科目を10単位を上限として、修了単位に参入できます。ただし、上記の「単位互換科目」とあわせて10単位を上限とします。

# 博士後期課程

入学から博士号取得まで 標準修業年限3年(最長6年) / 長期履修制度あり



### CHECK 修了要件

- ①本博士後期課程に3年以上在学し、必修科目14単位、選択科目から4単位の併せて計18単位以上を修得すること。
- ②必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査および最終試験に合格すること。

### Voice 先輩達のリアルな声を聞いてみよう!



ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社  
長島 悠貴さん (経営情報イノベーション研究科 修士課程修了)

\*現在の博士前期課程

### 多角的な視点を学ぶ機会を得ることで選択肢を広げられるきっかけになる

昨今生成AIがめざましい発展を遂げています。私は修士課程で、機械学習を用いて自然言語のデータを分析・分類を目的とした研究を行っており、AIの基礎となる部分やその活用に関する研究に取り組んでいます。

修士課程修了後は、ITインフラに関わる企業にエンジニアとして就職し、スマートフォン向けアプリケーションのバックエンドサーバーの開発・運用を行なっています。一見学んだことは大きく関係がないように思われますが、業務でも生成AIに関するサービスをリリースしており、それらを検討する際には修士課程で得た知識・知見を活かすことができました。

今後AIがさらなる発展を遂げていくと考えられる社会の中で、そうしたものをより効果的に活用していく上では、ITに関する知識だけではなく経営的な観点など多角的な視点が求められます。進学し、多角的な視点を学ぶ機会を得ることで選択肢を広げられるきっかけになると考えます。